

- 2・3 会長就任のご挨拶
令和2年度 事業・決算の報告
夏のボランティアチャレンジ・出前福祉講座
- 4・5 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記
デイサービスセンター通信
- 6 わたし・我が家のぶち自慢・おたより
- 7 みんなで進めよう!「はやしまほっとプラン2」
特例貸付受付期間延長のお知らせ
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

はやしま福祉情報 社協だより

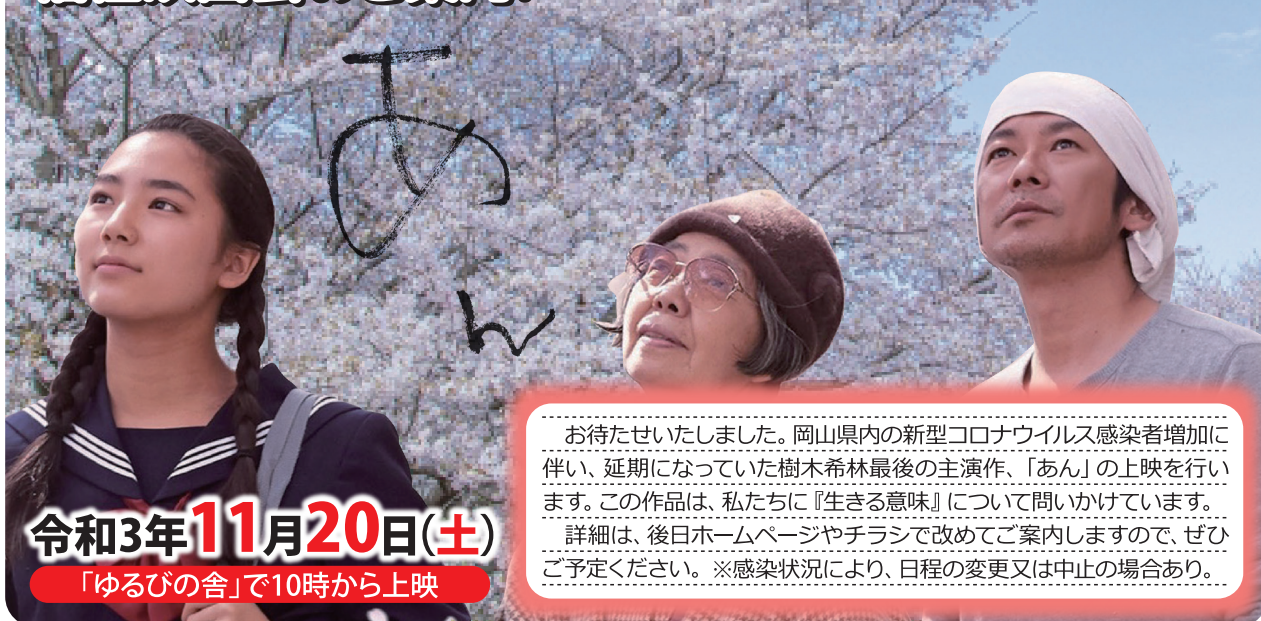
【基本理念】 (お) たがいが支えあい (あ) んしんして (し) あわせに暮らせる (す) みよい地域をつくります

お互い様の心で!



コロナ禍ではありますが、今年も、赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まります。昨今、経済的な困窮により衣食住が十分に確保できない方や、居場所を失い孤立を深めている方などへ支援の手が求められています。困ったときはお互い様。感染予防に努めながら、今年も、共同募金運動にご協力をお願いします。

福祉映画会のご案内!



令和3年**11月20日(土)**
「ゆるびの舎」で10時から上映

お待たせいたしました。岡山県内の新型コロナウイルス感染者増加に伴い、延期になっていた樹木希林最後の主演作、「あん」の上映を行います。この作品は、私たちに『生きる意味』について問いかけています。詳細は、後日ホームページやチラシで改めてご案内しますので、ぜひご予定ください。※感染状況により、日程の変更又は中止の場合あり。

会長就任のご挨拶



社会福祉法人
早島町社会福祉協議会
会長 木村 丹

6月18日に開催された理事会で、早島町社会福祉協議会会長を拝命致しました。早島町社会福祉協議会の鑑賞は、今から約70年前第二次世界大戦後の昭和24年、GHQ（General Headquarters）の指導により市町村に社会福祉による救済事業が求められ、早島町役場内に一つの部署として発足、共同募金、満中陰志の受納、民間福祉団体の調整・指導などを担った、とされています。……が、詳細は明らかではありません。当時の資料はどこかに眠っているものと思われまふ。

現在の社会福祉協議会の使命は、様々な場面で生活に支障がある方々に、地域と関わり合いを持ちながら、可能な限り普通に近い状態で日常生活が営まれるように支援すること、と考えています。これから先、高齢の方々はますます増えていきます。高齢者独居世帯や高齢者老々介護世帯においてどのような支援が必要か、人それぞれが望んでいる暮らしを聞き取りしながら、理事会で協議しながら対応を進めていきます。そのためには、社協職員の働きやすい環境づくり、多くのボランティアの人たちが活動の励みになる環境づくりも会長の使命と認識しています。早島町地域包括支援センターや早島町包括ケア懇話会との密接な連携のもと、早島町の住みやすい地域づくりに繋がるように尽力致します。

いつまでもなく、新型コロナウイルス感染症対策には十分過ぎるほど留意し、会内で発生することのないように基本を忠実に遵守してまいります。

ぜひご意見・ご要望をください。

令和2年度 事業・決算の報告

「はやしまほっとプラン2」の策定が終了しました。また、社会福祉法人連絡協議会『ほっとけんネット早島』によるフードバンク等の新しい活動の支援を行いました。

収入合計 186,072,902円

寄附金・会費収入 (A)
(0.2%)
289,542円

共同募金配分金収入 (A)
(0.6%)
1,239,114円

介護保険事業及び障害福祉サービス等事業収入 (A)
(70.7%)
131,575,412円

運用資金・退職積立取崩及びその他の収入 (A)
(4.3%)
7,919,921円

補助金・受託金収入 (B)
(24.2%)
45,048,913円

自主財源による事業 (A)
148,383,261円 (78.4%)

補助金受託金による事業 (B)
40,918,829円 (21.6%)

支出合計 189,302,090円

資金収支差額 ▲3,229,188円

介護保険事業 (A)

- 居宅介護支援事業の実施
(介護計画延べ作成数 要介護2,037件、要支援542件)
- 通所介護事業の実施 (延べ利用者数7,727名)
- 訪問介護事業の実施 (延べ訪問回数4,635回)
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
(通所・延べ利用者数568名、訪問・延べ訪問回数1,552回)
- 障害者総合支援事業の実施 (延べ訪問回数1,080回)
- 職員人件費 (常勤換算・事務局1.5名、介護保険21名)

地域福祉事業

- 地域福祉活動計画の策定
(策定委員会5回、ヒアリング、アンケート、部会10回)
- 生活支援活動の支援
(暮らしの応援団活動・定期267件、不定期38件、買い物サロン936回、応援カフェ4回)
- 外出支援活動の検討・実施
(検討会10回、福祉有償運行194回、サロン等送迎156回)
- 社協だよりの発行 (年4回)
- 福祉活動員活動の支援
(研修会2回、定例会4回、地域活動)
- コミュニケーション麻雀の普及推進
(定例会・延べ参加者数184名)
- 自治会単位の地区福祉活動支援 (3地区)
- ふれあいいきいきサロン活動の推進
(24団体、延べ参加者数325名、連絡会1回)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援 (7団体)
- 福祉教育・啓発の推進 (早島小車イス体験教室・体験者数121名)
- 福祉用具貸出サービスの実施 (162件)

法人運営事業 (B)

- 理事会(役員会)の開催 (5回)
- 評議員会の開催 (4回)
- 評議員選任・解任委員会の開催 (1回)
- 職員人件費 (常勤換算・事務局3.5名)

職員出向事業

- 地域包括支援センターへの職員出向 (1名)

地域福祉事業

- 町内社会福祉法人連絡協議会の開催
(総会1回、幹事会1回)
- 地域福祉活動計画の推進
(買い物サロン立ち上げ15地区など)
- 高齢者給食サービス活動の推進
(8団体、延べ利用者数1,525名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援
(5団体)
- ボランティア活動に関する相談・調整
(調整件数504件)
- 地域福祉センターの運営管理
(貸出378回・延べ利用者数3,816名)
- 館具・用具の貸出 (30件)
- 生活福祉資金の貸付 (相談159件、償還2件)
- 日常生活自立支援事業の実施
(継続4件)



夏のボランティアチャレンジ

実施日 8月3日(火)～19日(木)

実施場所 町内活動先

ボランティア活動をととして、人との出会いや
触れ合いから、「共に生きる」視点について考える
ことを目的に行う本事業。名称を「夏のボラン
ティアチャレンジ」と変え、町内の公共施設や福
祉ボランティア団体にご協力をいただき、今年度
は15名の中学生等の参加がありました。

今年度は、岡山県内における新型コロナウイル
ス感染症の感染状況を考慮しながら、体験プロ
gramの内容を工夫して、開催しました。



中央公民館の清掃活動（草取り）



パソコンサロンでの活動（スマホ、PC操作の説明）



収集ボランティア活動（インク・切手の分別）

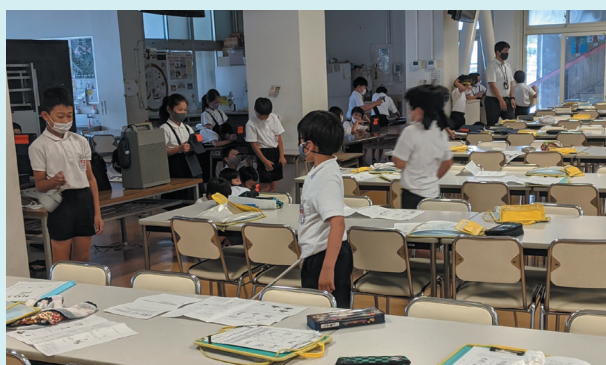
出前福祉講座

早島小学校からの依頼を受け、4年生の総合
的な学習“HOT”「つながる早島 思いやりのこ
ころで」の一環で、「聴覚障がい」、「視覚障がい」、
「車イス体験」についての出前福祉講座を3回に
分けて開催しました。

講座では「音のないテレビ」の視聴や「白杖」
を使つてのブラインドウォーク、「車いす」を使っ
て実際に学校の外周を移動する等の体験を通
じ、障がいがある人たちの気持ちを考えました。

実施日 6月22日(火)、24日(木)、28日(月)

実施場所 早島小学校



白杖体験（視覚障がい）



筆談用ボードの説明（聴覚障がい）



車イス体験（身体障がい）



ケアマネジャーの

よりそい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方が住み慣れた地域で生活していくためのお手伝いをしています。

今年度は、介護に対する備えや向き合い方について情報発信していきます。

第37回 「一緒に長く過ごすために」

介護を受ける方の健康管理も大切ですが、介護される方の健康も、同じくらい大切です。

今回は、脳梗塞により重い後遺症が残り、自分で起き上がりや立ち上がりができない状態になったご主人を、自身の趣味を楽しみながらご自宅で介護を続けられた内田さんに、お話をうかがいました。



内田正治さん・信子さんご夫妻



●74才 脳梗塞発症

治療とリハビリのため約7か月間入院

●6年間 自宅で介護

訪問診療や介護保険のサービスを利用

※正治さんは、今春永眠されました。ご冥福をお祈りいたします。

ケアマネジャーのひと言アドバイス



愛犬の「さくら」

いつも趣味のお花でいっぱいでした♪



ケアマネ ご家庭での介護は大変ではなかったですか？

信子さん 元気なころは外食が多く、心配して声をかけても「放っておけ」と言われました。退院してからの生活は、初めはしんどかった。でも、夜中でも看護師さんが来てくれるなど、いろいろな人に支えられ、さくらにも癒されました。お父さんとずっと一緒にいれ、私は幸せでした。見送った今、お父さんには本当に感謝しています。

ケアマネ これから介護を迎える方へアドバイスをいただけますか。

信子さん 趣味を持つことでしょうか。一つでも趣味があれば息抜きができます。私は、花の世話をすることで気分転換ができました。あと、介護はひとりで抱え込まないことも大切な。

私たちケアマネジャーは、それぞれの生活を大切に、ひとりで抱え込まず、介護が続けられるようサポートします。



●介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

ほのぼの日記

手作りうちわで快適!!

「暑いね～。うちわ貸して～」と汗いっぱいの日々。「オリジナルのうちわを作りたいね」利用者さんの一言で、自分専用のうちわ作りを開始！鶴を折ったり、ぬり絵を切って貼ったり、創作中は大はしゃぎ。仕上がったうちわをほめ合いながら、「これから元気で頑張ろう!」と励まし合って、いつも以上に楽しく涼しい夏を過ごしました。



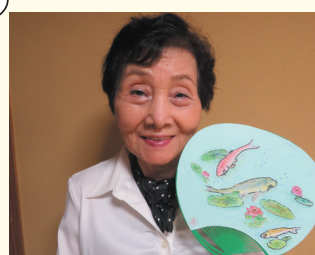
かわいいでしょ♡



うまく作れるかな？



私のが一番ね!





ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルプステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2021-9-1 | 「おひとりおひとりに合ったメニュー作り その1」

多岐にわたるホームヘルパーの援助の中でも調理は毎日の生活に欠かせない援助です。そこで、利用者様の健康状態にあった調理法や献立を考え、おいしく食べていただくことの大切さに注目した調理法を紹介します。

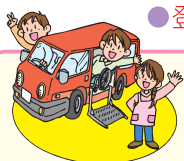
今回は噛むことや飲み込む力が弱くなってきている方への調理です。食材によっては切り方や柔らかさを工夫することはもちろんですが、市販の調理品を使用することもあります。介護食のレトルト食品をご存じですか？便利ですがワンパターンにもなりがちです。



しかし、好きな食材を足したり、味を変えるなどひと手間を加えることで幅が広がります。この日調理したのは、「エビのクリーム煮」を使用したグラタンです。チーズがお好きとのことでクリーム煮の上にチーズとパン粉をのせて、トースターで焼きました。利用者様も目先が変わって喜んでくださいました。次回は、人工透析を受けている方の調理の工夫を紹介します。

ヘルパー研修録

今回は、安全運転管理者研修（オンライン）を職員の代表が受講しました。安全運転管理者の役割や業務内容等また、ドライバーのマナー・ルール等について学びました。「安全」に充分留意して訪問できるよう全ヘルパーに伝えていきたいと思います。



●登録ヘルパー募集中！お問合せは、早島町ホームヘルプステーション（☎086-482-3518）まで

デイサービスセンター 通信

おいしい物って幸せ♡

今日は特別おやつDay！甘酒、ソーダ、アイスと選り放題！「まだまだ暑いからアイスにしようかしら」「体力づくりには甘酒が一番よ！」どれにしようか、みなさん無邪

気に笑顔いっぱい。「これからもおいしい物をたくさん食べて、コロナに負けずに頑張ろうね！」と声をかけ合いながら楽しいおやつタイムを過ごしました。



※撮影時に限りマスクを外しています

自慢の道具達



家キャンプで
ステイホーム

投稿者
眞田 軒吾さん(金田)

趣味を生かしたりハビリ



次はどんな作品を
作れるか楽しみです

投稿者
森脇 稔博さん(日笠山)
写真
森脇 久仁子さん(日笠山)



仲良し兄妹



プールだいすき

投稿者
渡邊 智子さん(中山)
写真
右から
渡邊 凜子ちゃん(中山)
渡邊 仁くん(中山)

せみの抜け殻みつけた★

投稿者
守屋 遥さん(前潟)
写真
あさと
守屋 蒼智くん(前潟)



あれ、からっぽだ〜

ぶち 自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん...)との写真
- 大切な仲間との写真
- 自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー...)の写真
- 力作品(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜...)と一緒にの写真
- 手工芸や絵などの創作品と一緒にの写真など...

我が家のアイドル



お問合せ・お申込み先

早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

おたより



初めは「収集ボランティア」という名前さえ知りませんでした。その日ちょうど時間が空いたので、「やってみよう」と友達といっしょに参加することになりました。

私が担当した収集ボランティアの内容は、切手を分ける活動でした。まず、日本と外国の切手に分けます。そして、汚れ、破れ、折れなどがない一枚ずつよく見て分けていきました。そこで私が驚いたのは、箱いっぱいにくさんの切手が集まっていたことです。その切手は地域の方々によって集められたものでした。この切手売って得たお金が、開発途上国の人達の生活を支える活動のために使われるのだそうです。

私は切手を集めることによって、助かる人々がいることをそれまで知りませんでした。それは私以外のボランティアに来ていた人たちも同じでした。私のように収集ボランティアの意味さえ知らない人がきつとたくさんいます。しかし、その裏で一生懸命地道に人の助けになるものを集めている人もいます。それは本当にすばらしいことだと思いました。

収集ボランティアは切手だけではなく、他にもたくさん人の助けになるものを集めることができます。そしてなにより、誰でも簡単に始めることができます。このボランティア活動は地道な作業が多いと思いますが、それにたくさんの方が参加することによって、世界に大きな影響を与えるすごい力をもっているのだと感じました。以前の私のように、このボランティア活動の名前さえまだ知らない方々にも、このような活動のすばらしさを伝えていきたいと思っています。

早島中学校 3年

大月 みこと





『はやしまほっとプラン』は、町民や地域の多様な主体（自治会、ボランティア、福祉団体、福祉事業所、関係等）が相互に協力して策定する早島町の『地域福祉の推進』を目指した民間福祉の行動計画です。そして、その推進には町行政との協働が必須です。そこで、今号では、第2次計画の町行政との関係性などの位置づけをご紹介します。

『はやしまほっとプラン』の位置づけ



早島町が策定した第4次早島町地域福祉計画には、「本町で地域福祉の中核的役割を担う早島町社会福祉協議会が、地域福祉活動を具体的に公示し、地域住民や関係機関、関係団体などが相互に協力しながら、地域が抱えるさまざまな福祉課題の解決を目指すことを目的に策定する「早島町地域福祉活動計画」や「岡山県地域福祉支援計画」と連携を図る」ことが位置付けられ、求められています。

『はやしまほっとプラン2』の計画推進期間

●早島町地域福祉活動計画（民間計画／町社会福祉協議会策定）

年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
		1次計画			評価	改定			2次計画			

●早島町地域福祉計画（行政計画／町健康福祉課策定）

年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
		3次計画				改定			4次計画			

第2次計画は、令和3年度を初年度とし、令和8年度を目標年度とする6か年計画としました。5か年計画であった第1次計画から期間を変更する背景として、今後は、行政計画である「早島町地域福祉計画」と歩調を合わせ、同期間で計画の推進や進捗評価、改定作業を行うことで、官民協働の役割分担による早島町全体の地域福祉を推進していくことを目的にしています。

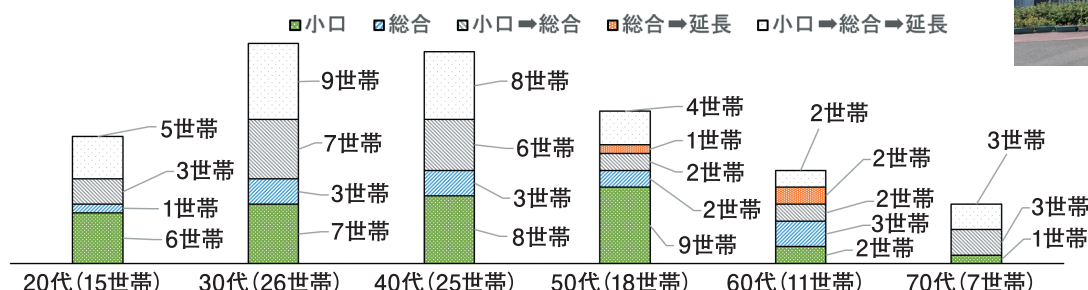
なお、生活課題や社会情勢、福祉制度等の動向を踏まえ、計画期間内においても必要に応じて、評価や見直しを行うものとします。



特例貸付受付期間延長のお知らせ

コロナ禍の影響で収入が減少、失業等されている町民の方を対象とした生活福祉資金（特例貸付）の受付期間が令和3年11月30日まで延長されました。

また、町内では、令和2年3月25日から令和3年7月20日までの期間に102世帯が貸付を申し込まれています。ご利用をお考えの方は、まず申込みの対象になるかどうかを本会にご確認ください。



お問合せ

早島町社会福祉協議会
(☎086-482-3000)

ふくしま活動フォトギャラリー



福祉有償運送運転者講習会

本会では、「NPO法人移動ネット岡山」と共催で、毎年早島会場での講習を設け、町内外の移動支援の担い手の確保に努めています。この日は、町内外から約20名が参加。公共交通機関を自力で利用できない方の移動支援に必要な資格の知識や技術を学びました。(R3.7.17-18/オアシス早島)



暮らしの応援団活動

独居高齢者のお宅の不燃物搬出の様子。応援団員さんの軽トラックで折りたたみベッドを回収。町役場で廃棄物のチェックと許可を得て、ご利用者から預かった処分料を支払い、町の埋立処分地へ搬送しました。日常生活の困りごとのご相談は本会事務局まで。(R3.7.30/町内高齢者宅)



岡山県立大学 地域創生演習

ボランティア活動や社会貢献などの理解を深めることを目的に実施される、同大学の副専攻『岡山創生学』過程の依頼を受け、町内の施設、団体に学生ボランティアの受け入れを行いました。今年度は児童館に4名、パソコンサロンに1名の参加がありました。(R3.8.7/オアシス早島)



塩津いきいきサロン

新型コロナウイルスの蔓延の影響で、1年半振りにサロンを開催。参加者数を気にしていましたが、当日はたくさんの高齢者の方が参加。1時間半、あまり私語をしないで、コースターの創作を楽しめました。「サロンの再開を待ってたのよ～」と、うれしい声をいただきました。(R3.7.29/塩津公民館)



シニア向けスマートフォン講座

スマートフォンの急速な普及を背景に、操作に慣れない方のデジタルデバイド(情報格差)の解消と、SNSを活用した新たなつながりづくりの試行に向け、『ほっとプラン2』に基づき開講。共同研究を進める岡山県立大学の学生さんにもサポートを得ながら開催しています。(R3.8.3/オアシス早島)



フードバンク活動

町役場や町内社会福祉法人施設で町民の皆さまからお預かりした食料を、生活にお困りの方へお渡ししています。この日も母子世帯の方が来所。お米や食材を持ち帰られました。コロナ禍での生活困窮相談が途切れない中、皆さまのお気持ちを繋いでいきます。(R3.8.13/オアシス早島)